

試合番号 : 227		試合会場 : 墨田区総合体育館				観客数 : 810	
開始時間 : 14:00		終了時間 : 16:05		試合時間 : 02:05		主審 : 村中 伸	
副審 : 中西 幸治		FC東京		堺ブレイザーズ		通算 14勝 12敗 ポイント : 40	
通算 7勝 18敗 ポイント : 26		20 第1セット 25		25 第2セット 23		3	
昨日のフルセット負けからホームゲームで勝利できたことは非常にうれしく思います。堺ブレイザーズの強力なブロック、ディフェンスに終始フルセットをかけられていましたが、選手達がそこを耐えしのぎ、勝利したことは非常に誇りに思います。今後も厳しい戦いが続きますが、毎週しっかり成長できるように準備をしています。ホームゲームでの2日間、熱い声援ありがとうございました。		25 第3セット 21		25 第4セット 19		1	
監督コメント		3		1		監督コメント	
要約レポート		第1セット序盤、FC東京は古賀や迫田の好レシーブから、佐藤がアタックを要所で決めるが、堺ブレイザーズは高野、千々木の連続ブロックで優位に立つ。中盤、FC東京は手原の効果的なサーブが堺にプレッシャーを与え、点差を詰めるが、堺は松本のブロックや関田のサービスエースが要所で決まり、リードを守る。終盤、堺は鶴野のアタックによる3連続得点で突き放すと、最後は千々木の豪快なアタックが決まり、堺がセットを先取る。		第5セット		監督コメント	
		第2セット序盤、FC東京は迫田のサービスエースで波に乗ると、黒田や平田のアタックで点を重ね、リードを奪う。対する堺は好調の千々木のアタックで追撃する。中盤、一進一退の攻防から、FC東京は平田のアタックとサービスエースなどにより優位に進める。終盤、堺は交代が入った樋口がブロックや山本の好レシーブからアタックを決めるなど活躍を見せるが、FC東京は長友や迫田のアタック、手原のブロックなどで逃げ切り、セットを取り返す。				昨日の選手にとっても良いプレーを許し、また途中から入ったプレモビッチ選手に活躍を許してしまった点が敗因だと思います。また、我々としてはカウンターで決めきれなかったことが次への課題です。松本選手の40試合達成という記念すべき日を勝利で飾れなかったことは残念でしたが、関わった人達に感謝の気持ちを丁寧に述べる彼の誠実な人柄に、日本バレー界を代表する人物の1人であることを再認識することができました。Congratulations!!	
		第3セット序盤、FC東京は、手原が攻撃陣を巧みに操り、栗山と黒田のアタックで得点を重ねていく。堺も樋口や千々木のアタックで追撃し、一進一退の攻防となる。中盤、FC東京は選手交代が功を奏し、山田のブロックで勢いづく。迫田のサービスエースで優位に立つ。FC東京は長いラリーをプレモビッチのアタックで制して点差を広げ、セットを連取する。					
		第4セット、序盤、FC東京はプレモビッチがアタックにサービスエースに活躍し、一進一退の展開から抜け出す。堺も譲らず、高野のブロックや鶴野のアタックなどで応戦する。中盤、迫田のブロックで優位に立つFC東京は、プレモビッチや迫田のアタックによる連続得点で点差を広げると、終盤以降も主導権を譲らず、最後は黒田がアタックを決め、勝利を収めた。					
試合番号 : 228		試合会場 : パナソニックアリーナ				観客数 : 975	
開始時間 : 14:00		終了時間 : 15:29		試合時間 : 01:29		主審 : 千代延 靖夫	
副審 : 服部 篤史		パナソニックパンサーズ		ウルフドッグス名古屋		通算 17勝 7敗 ポイント : 51	
通算 20勝 6敗 ポイント : 59		27 第1セット 25		25 第2セット 18		3	
2日間連続でハイレベルな試合をしたと思います。今日は選手をほとんど入れ替えませんでした。全員で取りに行った勝利です。全選手個人だけではなく、チーム全体が成長するために練習で精一杯頑張っているからこそ、こういう形で勝ったと思います。来週も頑張るので、応援よろしくお願いたします。		25 第3セット 23		第4セット		0	
監督コメント		3		0		監督コメント	
要約レポート		パナソニックパンサーズとウルフドッグス名古屋の一戦。第1セット、両チームともにセンターからの速攻を絡めた多彩な攻撃を見せて終盤まで競り合う展開となった。WD名古屋はクレクの高さのあるスパイクで抜けだそうとするも、ブロックを含めた組織的な守備で自分たちの攻撃に繋げたパナソニックが接戦をものにした。		第5セット		昨日とは違う戦いとなりましたが、その中でもチームで話し合ったことができた場面があったと思います。まだまだ成長できる点が多くあります。これからリーグ戦への終盤へ向けて、一人一人が力を付けることでチームとして成長し続けます。本日の試合を応援していただいた皆様、応援ありがとうございました。先般の災害で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興を我々ウルフドッグス名古屋一同お祈り申し上げます。皆様にとって安全で安心できる日常が訪れますように。Best Day Ever!	
		第2セット、WD名古屋は序盤にクレクにボールを集めて勢いをつけようとするが、パナソニックはセッター深津が山内、小宮の両センターを要所で使い、清水も安定して得点を重ね、危なげなくセットを連取した。					
		第3セットに入ってもパナソニックの勢いは止まらず、久原、クビアクの両レフトを中心にリードを広げる。後がないWD名古屋はリリーフサーバー永島のサービスエースから徐々に点差を縮め、終盤は高梨がスパイクを次々と決めて23-23と追いついたが、最後は清水がブロックを決め、パナソニックが2日連続でストレート勝利を収めた。					
試合番号 : 229		試合会場 : エフビオアリーナふくやま (福山市総合体育館)				観客数 : 1,300	
開始時間 : 13:00		終了時間 : 14:57		試合時間 : 01:57		主審 : 山本 和良	
副審 : グレグ ルーオー		JTサンダース広島		ジェイテクトSTINGS		通算 16勝 8敗 ポイント : 45	
通算 12勝 14敗 ポイント : 38		14 第1セット 25		21 第2セット 25		1	
本日も沢山の方に会場へ足を運んでいただき、ご声援ありがとうございました。スタートは少し堅さがありましたが、セットを追うごとにプレーの質が上がってきたと思います。修正のポイントを確認して、次の試合に臨みたいと思います。		25 第3セット 21		19 第4セット 25		3	
監督コメント		1		3		監督コメント	
要約レポート		ホームゲームを勝利して勢いに乗りたいJTサンダース広島と連勝を続けて次週に繋げたいジェイテクトSTINGSの一戦。第1セット、序盤にJT広島はエドガー、新井がアタックを決めると、ジェイテクトもフェリベガの攻撃で打ち合いとなった。中盤にジェイテクトのフェリベガがバックアタックを決め、さらに西田がブロックを連続で決めて一気に引き離していく。粘るJT広島は、セッター金子がエドガーにボールを集めて巻き返しを図るが、点差を詰めることができず、最後はジェイテクトが角度のあるクイックを決めてセットを先取した。		第5セット		途中JT広島の攻めに対して守りに入ってしまいがちな場面もありましたが、すぐに立て直し自分達のペースで試合を進めることができました。これからも1試合1試合を全員の力で勝ち切り、チームとしても成長し続けていけるよう、臨んでまいります。福山大会の2日間、沢山の応援ありがとうございました。	
		第2セット、序盤からジェイテクトは西田が強烈なアタックとサーブを決めると、JT広島もエドガーのアタックで粘りをみせる。ジェイテクトは終盤にルーキー宮浦を起用すると、その宮浦がアタックを決めて流れを作り、最後は西田が強烈なアタックを決めてセットを連取した。					
		第3セット、後がないJT広島はエドガー、安永がアタックを決めて少しずつリードしていく。ジェイテクトも西田の強烈なアタックやブロックで粘りをみせる。中盤にJT広島はエドガーのアタックで流れを掴み、エドガーの強烈なサーブや小野寺のアタックで得点を重ねて、セットを奪い返した。					
		第4セット、序盤からジェイテクトが鶴野のアタック、さらに西田が強烈なサーブとアタックでリードを大きく広げた。粘るJT広島は流れを引き戻そうとルーキー坂下を起用して守りを固め、エドガーの強烈なサーブや小野寺、安永のアタックで粘りをみせたが届かず、終盤にジェイテクトの西田が強烈なアタックを決めてジェイテクトが勝利した。					
試合番号 : 230		試合会場 : べっぴんアリーナ (別府市総合体育館)				観客数 : 856	
開始時間 : 14:00		終了時間 : 15:11		試合時間 : 01:11		主審 : 木内 誠二	
副審 : 林 淳一		大分三好ヴァイセアドラー		サントリーサンパーズ		通算 22勝 2敗 ポイント : 62	
通算 2勝 24敗 ポイント : 9		16 第1セット 25		15 第2セット 25		0	
サントリーのサーブ&ブロックで要所を押さえられ、流れを掴むことができませんでした。自チームのサーブもミスが多く、相手を楽にさせる展開が多かったと思います。次週もホームゲームにおいて、上位との戦いとなりますが、チームとしてのベストを尽くしたいと思います。本日も応援ありがとうございました。		21 第3セット 25		第4セット		3	
監督コメント		0		3		監督コメント	
要約レポート		地元大分で連敗を回避したい大分三好ヴァイセアドラーと首位を維持するサントリーサンパーズの対戦。第1セット、大分三好は昨日とスタートを変更し、バグナス、ストックトンを設置して流れを掴みにいくが、サントリーの小野、藤中、塩田による効果的な攻撃に苦戦し、昨日の勢いそのままにサントリーがセットを先取る。		第5セット		昨日の試合で出た課題である、ディグからの切り返しの決定率というところが今日の試合で修正できたことが非常に良かった点です。大分三好のバグナスの高い打点はなかなか体験することができないところだったので良い経験となりました。今日は途中からコートに入った選手も、スタートで入っていた選手も高い集中力とパフォーマンスを発揮してくれたと思います。今後とも厳しい戦いが続くと思いますが、少しずつ成長をしながら進んでいきたいと思っています。本日も準備いただいた皆様、応援いただいたファンの皆様ありがとうございました。	
		第2セット、なんとか流れを変えたい大分三好だが、サントリーの攻撃を前に受け身の展開となってしまふ。なんとかがバグナス、ストックトンに繋ぎ応戦するも、サントリーの柳田、ムセルスキーのブロックにも阻まれ、サントリーがセットを連取する。					
		第3セット、後がない大分三好は粘り強い守りとストックトンの活躍により一進一退の展開へ持ち込む。しかし、サントリー・ムセルスキーの高さのある攻撃を止めることができず、サントリーがストレートで勝利し連勝をさらに伸ばした。					